



シリーズ調査

いばらきの 人口減少・少子高齢化と、 暮らしの中の不安

第1章 統計で見る、いばらきの人口減少・少子高齢化の状況
第2章 人口減少・少子高齢化を背景に、日常の暮らしで感じる不安

常陽アークでは、昨年10月号・今年1月号及び4月号の3回にわたり「いばらきのワークスタイル調査」を実施してきた。その中で、アンケートや取材を通じて、「人口減少」や「少子高齢化」がこのまま続くとうなるのか、我々の暮らしは大丈夫なのか、という問題意識や不安が多いことが判った。

「人口減少」や「少子高齢化」といった言葉は、マスコミ等で目にしない日は無いほどよく使われているが、最近の実態、特に茨城県内の実態はどうなのかという点がやや疎かにされている面は否めない。

そこで本号では、茨城県の人口がピークに達した2000年頃以降の人口構造・世帯構造等の変化と将来推計等を整理すると共に、インターネットアンケートを通じて、本県民が人口減少と少子高齢化に伴って日常の暮らしで感じている不安を確認する。

担当：高堀 賢一、林 里奈、荒澤 俊彦

調査のポイント

- 1 茨城県全体の人口は2003年以降減少に転じたが、2011年の東日本大震災を機に減少幅が拡大し、近年は年間1万人規模での減少が続いている。県内市町村で人口が一貫して増えているのは、つくばエクスプレス沿線3市と牛久市のみ。水戸市・ひたちなか市・東海村・神栖市・鹿嶋市は他地域からの人口流入により人口を維持。その他の市町村は長期にわたり人口減少が続いている。
- 2 少子高齢化に伴い県内で進んでいる人口構造・世帯構造の高齢化・細分化は、既に過去に例を見ない規模になっている。増加しつつ細分化する高齢者層を現役世代が支えるこれまでの構図は、現役世代自身の減少・細分化により、早晚維持困難になると懸念される。
- 3 県民向けアンケートによると、現役世代、特に仕事やライフイベントの関係でストレスが重なりとされる40代と、実社会にこれから入る、あるいはまだ経験の浅い20代の将来不安の高さが目立った。予想される諸問題には早め・着実に対処すると共に、稀少になる若者を確実に支えていくため、これからの社会保障は人生前半にも手厚く配分していく必要があると考えられる。

第1章 統計で見る、いばき的人口減少・少子高齢化の状況

1. 茨城県・県内市町村の人口推移

茨城県全体の人口推移…減少傾向が続く

主な人口統計数値としては、国勢調査（5年毎。各10月1日現在）によるものや、県常住人口調査（月毎。国勢調査結果を基準に、出生・死亡・転入・転出を加味して算出）によるものがある。国勢調査による県人口のピークは2000年の298万5676人であるが、県常住人口調査によるピークは2000年9月1日現在の300万4266人である。県民全体を指して「300万県民」という言い方があるが、1999年11月から2000年9月までの短い間（途中2か月間を除く）、県統計上は実際に300万人以上であった。

県統計上、県全体の人口は2003年から減少に転じているが、自然増減（出生－死亡）が減少に転じたのは2005年である。これ以降、出生減と死亡増の両面で自然減が拡大。2011年の東日本大震災を機に社会減（転入<転出）が急拡大した後を追うように自然減も拡大し人口減少が加速。2015年以降、社会増減は増加に転じたものの、自然減幅は拡大傾向にあるため、全体としては毎年1万人前後の人口減少が続いている。

県内市町村の人口推移…居住先の選別傾向が顕著

29頁～32頁の別表は、茨城県及び県内44市町村の人口と自然増減の推移を示したものである。尚、増減の特徴を視覚的に判り易く示すため、増加基調の部分は白地、減少基調の部分に網掛けを付した。

長期にわたり人口減少が続く市町村が大部分を占める中、つくばエクスプレス沿線（つくば市・守谷市・つくばみらい市）が一人勝ちの勢いである。但しつくば市と守谷市では自然増幅が減少傾向にある等、既に老いの兆しが見られる点に注意を要する。

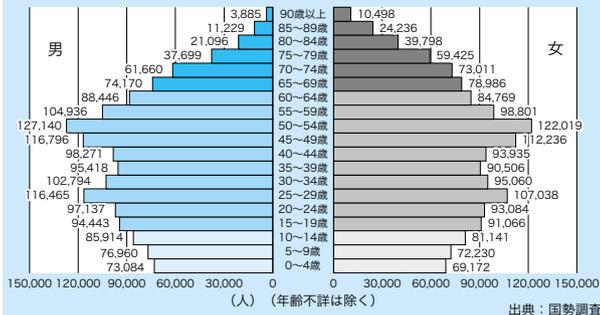
常磐線沿線では牛久市のみが増加傾向を維持しているが、2016年以降自然増減が減少に転じていること、及び沿線他市（土浦市、龍ヶ崎市、取手市）では既にそれぞれ毎年数百人規模の人口減少が続いていること等、つくばエクスプレス沿線との勢いの差は明らかである。

県庁所在地の水戸市と隣接するひたちなか市、原子力関連施設が立地し財政的に豊かとされる東海村、鹿島臨海工業地帯がある神栖市・鹿嶋市は、人口は長期にわたる増加を経て現在は総じて横這いであるが、いずれも自然増減が近年減少に転じており、人口維持は他地域からの流入次第といえる。

2. 茨城県の人口構造の変化

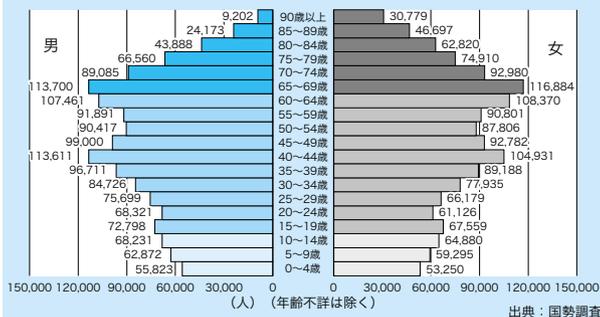
図表1-1 茨城県の人口構成（2000年）

（総数：2,985,676人（男：1,488,340人、女：1,497,336人））



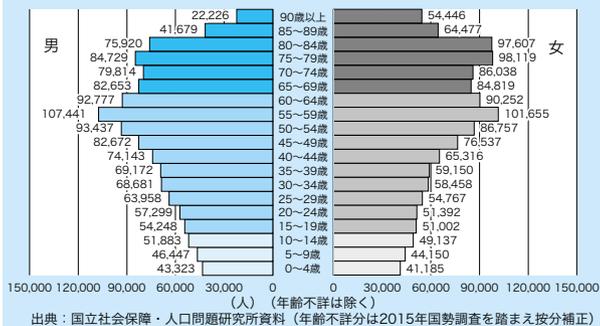
図表1-2 茨城県の人口構成（2015年）

（総数：2,916,976人（男：1,453,594人、女：1,463,382人））



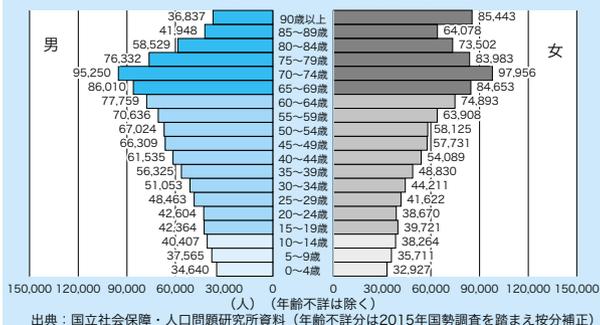
図表1-3 茨城県の人口構成（2030年）

（総数：2,638,185人（男：1,307,577人、女：1,330,608人））



図表1-4 茨城県の人口構成（2045年）

（総数：2,235,686人（男：1,104,323人、女：1,131,363人））



2000年-県人口ピーク時の姿

国勢調査上、茨城県の人口がピークに達した2000年の人口ピラミッドが図表1-1である。

この時期の特徴としては、人口ピラミッド上で大きな膨らみをなす団塊世代（第一次ベビーブーム世代、1947年～1949年生）とその子世代（団塊ジュニア、第二次ベビーブーム世代、1971年～1974年生）が、共に現役世代である生産年齢人口（15歳～64歳）に属していることが挙げられる。この結果、2000年の生産年齢人口は1920年以降では最も多い203万360人（全人口に占める割合は68.0%）に達している（図表2を併せて参照、以下同）。

また、老年人口（65歳以上人口）は49万5693人（全体の16.6%）である。老年人口が全人口に占める割合が最も低かったのは、1947年の5.4%（10万8682人）であり、その後老年人口の数・割合は増加の一途を辿っている。それでも2000年時点では、団塊世代より上については、まだピラミッドらしい形が保たれている。

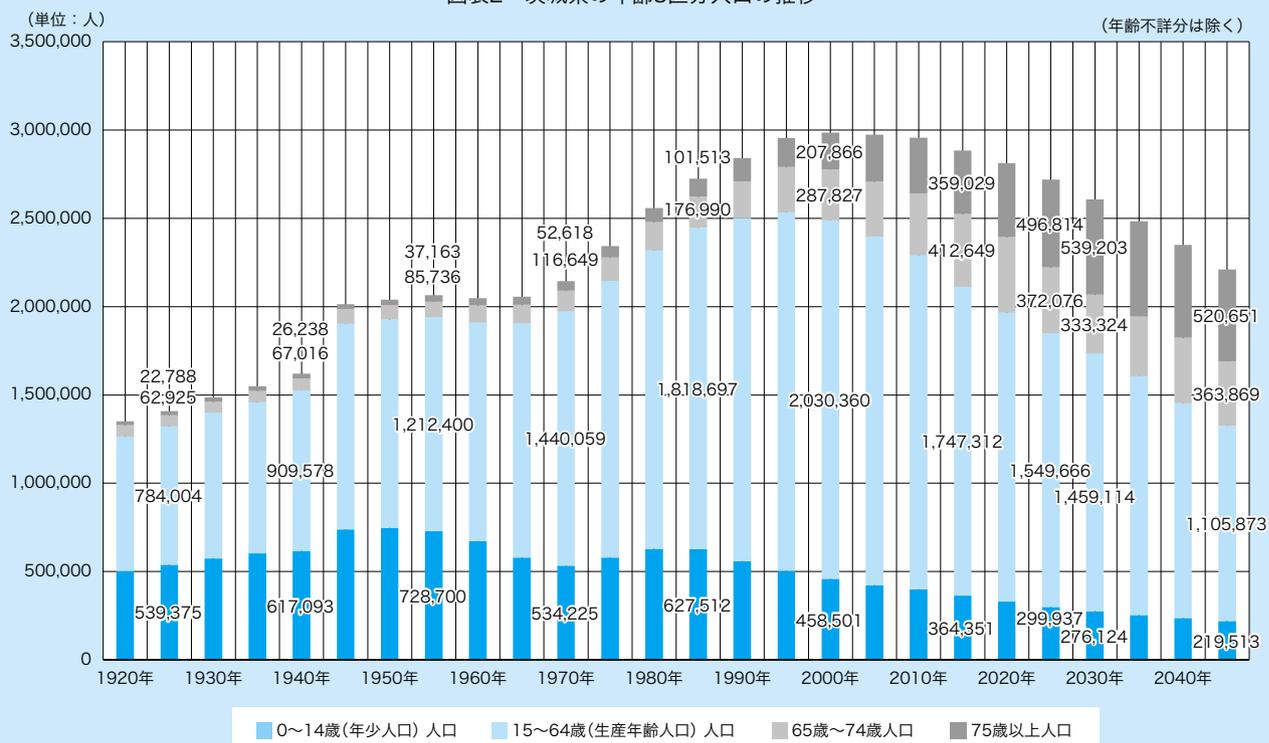
2015年-団塊世代が現役から外れる

直近の国勢調査が行われた2015年の人口ピラミッドが図表1-2である。

この時期の特徴としては、団塊世代が全て生産年齢人口から抜け、老年人口（65歳以上）に移行したことが挙げられる。この結果、2015年の生産年齢人口は174万7312人（全体の60.6%）まで急減し、逆に老年人口は77万1678人（全体の26.8%）へと急増した。2010年と2015年を対比すると、生産年齢人口は▲14万4389人、老年人口は+10万6613人となっているが、国勢調査毎で見てこのように大きく変化したのは、終戦直後（1940年→1947年）を除けば過去に例の無いことであり、団塊世代の動向は人口構造に非常に大きな影響を及ぼしていることが判る。

尚、生産年齢人口の割合60.6%は1960年（124万591人）と同じ水準であるが、1960年当時は年少人口（14歳以下人口）が67万2204人（全体の32.8%）であるのに対し老年人口は13万4229人（全体の6.6%）に過ぎず、現役世代から見た「上」の重さは、人数・割合とも1960年当時とは全く異なる水準になっていると言える。

図表2 茨城県の年齢3区分人口の推移



出典：国勢調査（～2015年）、国立社会保障・人口問題研究所資料（2020年～）（2020年以降の年齢不詳分は2015年国勢調査を踏まえ按分補正）
※端数処理の関係上、人口ピラミッド内の数値と一致しない場合がある。

2030年－後期高齢者数が前期高齢者数を上回る

団塊世代の高齢化に伴い、2025年には後期高齢者（75歳以上）の数が前期高齢者（65歳～74歳）を初めて上回ると予想されている。この結果、人口ピラミッド（図表1-3）は老年人口部分ですら、もはやピラミッドとは言えない形状に変貌する。2030年の老年人口は87万2527人（全体の33.5%）と推計されるが、うち前期高齢者は33万3324人、後期高齢者は53万9203人である。この後期高齢者の人数は将来推計上のピークであり、且つ2000年時点の老年人口全体（前掲、49万5693人）を上回るものである。ここからも、高齢化の規模・内容が過去に例を見ないものであることが判る。

老年人口自体の高齢化に伴い、高齢者向け医療介護費用が更に嵩むことが容易に想像される。しかし、それを支える生産年齢人口の内容が実に心許無い。生産年齢人口のうち最大の所謂団塊ジュニア世代が50代後半になるが、今の雇用形態や賃金制度が今後も大きく変わらない

いとすると、55歳前後で給与収入は急減、60歳で更に急減する結果、生産年齢人口が受け取る給与収入は見た目の人数よりも更に急速に細っていくと見込まれるためである。

2045年－高齢化がピークを迎える

人口ピラミッド（図表1-4）上、団塊世代の余韻は90歳以上の女性に残る程度になるが、代わって団塊ジュニアが70代になる。老年人口自体は2040年に89万6505人でピークに達すると推計されている。2045年の年少人口は21万9513人（全体の9.9%）に過ぎない一方、老年人口は88万4521人（全体の40.0%）に達する見込みである。県民10人のうち14歳以下の子供が1人、65歳以上の老人が4人という状態である。

但し、「1. 茨城県・県内市町村の人口推移」で見たように、人口増減は県内市町村で一様ではない。ごく一部の市町村に人口が集中し、大半の市町村では県平均以上に人口減少・少子高齢化が進むことが懸念される。

図表3-1 茨城県の家族類型別一般世帯数の推移

(単位：世帯)

世帯の家族類型	【一般世帯数】			【一般世帯に占める割合】		
	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成27年 2015年	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成27年 2015年
総数	1,029,481	1,086,715	1,122,443	100.0%	100.0%	100.0%
A 親族のみの世帯	784,516	796,625	790,676	76.2%	73.3%	70.4%
Ⅰ 核家族世帯	598,948	627,574	644,317	58.2%	57.7%	57.4%
(1) 夫婦のみ	190,837	211,615	228,592	18.5%	19.5%	20.4%
(2) 夫婦と子供	323,472	319,369	313,791	31.4%	29.4%	28.0%
(3) 男親と子供	14,198	15,866	17,095	1.4%	1.5%	1.5%
(4) 女親と子供	70,441	80,724	84,839	6.8%	7.4%	7.6%
Ⅱ 核家族以外の世帯	185,568	169,051	146,359	18.0%	15.6%	13.0%
(5) 夫婦と両親	8,379	8,020	6,846	0.8%	0.7%	0.6%
(6) 夫婦とひとり親	18,732	19,754	19,264	1.8%	1.8%	1.7%
(7) 夫婦、子供と両親	45,609	36,285	28,738	4.4%	3.3%	2.6%
(8) 夫婦、子供とひとり親	57,178	49,077	40,006	5.6%	4.5%	3.6%
(9) 夫婦と他の親族	2,881	2,923	2,675	0.3%	0.3%	0.2%
(10) 夫婦、子供と他の親族	11,941	13,071	12,729	1.2%	1.2%	1.1%
(11) 夫婦、親と他の親族	4,129	3,830	3,212	0.4%	0.4%	0.3%
(12) 夫婦、子供、親と他の親族	18,089	15,488	11,686	1.8%	1.4%	1.0%
(13) 兄弟姉妹のみ	4,462	5,268	6,125	0.4%	0.5%	0.5%
(14) 他に分類されない親族世帯	14,168	15,335	15,078	1.4%	1.4%	1.3%
B 非親族を含む世帯	6,832	9,474	9,445	0.7%	0.9%	0.8%
C 単独世帯	238,133	279,780	318,357	23.1%	25.7%	28.4%
(再掲) 65歳以上世帯員のいる世帯	382,484	435,917	493,718	37.2%	40.1%	44.0%
(再掲) 65歳以上の単独世帯	56,804	75,363	100,117	5.5%	6.9%	8.9%
(参考) 親と同居している世帯	152,116	132,454	109,752	14.8%	12.2%	9.8%

(注) 総数には家族類型不詳を含む。平成17年は新分類による遡及集計結果による。

出典：国勢調査

3. 茨城県の世帯構造の変化(図表3-1)

我々の暮らしの基本的な単位である世帯について、国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所資料を用いて、家族類型別に実態及び将来像を見ていく。

一般世帯とは

一般世帯とは、総世帯のうち「施設等の世帯(学校の寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所の入院者、社会施設・矯正施設の入所者の集まり等)」を除く世帯であり、独り暮らしも世帯として数える。茨城県では、一般世帯は2015年国勢調査において総世帯数の99.8%を占める。

細分化を伴う一般世帯数増加—専ら単独世帯増加

比較可能な過去3回の国勢調査(2005年→2015年)で見ると、分類不詳を除く増加分8万8997世帯のうち、実に90.1%にあたる8万224世帯が「単独世帯」である。

「親族のみの世帯」の増加分は6,160世帯に留まるが、その内訳を見ると「核家族世帯(夫婦または一人親と子供)」が+4万5369世帯、「核家族以外の世帯(親、兄弟姉妹等との同居)」が▲3万9209世帯と、家族類型別にはっきり異なる傾向にある。更に、「核家族世帯」の内訳を見ると、「夫婦のみ」+3万7755世帯、「夫婦と子供」▲9,681世帯、「男親又は女親と子供」+1万7295世帯である他、「核家族以外の世帯」のうち、親と同居している世帯が▲4万2364世帯となっている。

図表3-2 茨城県の配偶関係・男女別人口及び比率

(単位：人、%)

		人口			構成比		
		2000年	2005年	2015年	2000年	2005年	2015年
男	15歳以上人口	1,261,579	1,265,730	1,247,243	100.0%	100.0%	100.0%
	未婚（総数）	394,283	401,594	392,348	31.5%	31.9%	31.9%
	生涯未婚率（50歳時点）	—	—	—	16.2%	20.6%	24.3%
	有配偶	780,214	769,965	746,223	62.3%	61.3%	60.7%
	死別	39,870	41,837	43,325	3.2%	3.3%	3.5%
	離別	37,390	43,668	47,390	3.0%	3.5%	3.9%
	不詳	9,822	8,666	17,957	—	—	—
女	15歳以上人口	1,288,852	1,291,036	1,271,747	100.0%	100.0%	100.0%
	未婚（総数）	273,065	267,724	261,112	21.3%	20.9%	20.7%
	生涯未婚率（50歳時点）	—	—	—	4.7%	7.3%	10.7%
	有配偶	779,548	768,886	745,575	60.8%	60.0%	59.2%
	死別	172,902	178,135	181,586	13.5%	13.9%	14.4%
	離別	57,045	66,604	71,477	4.4%	5.2%	5.7%
	不詳	6,292	9,687	11,997	—	—	—

※構成比は、分母から不詳を除いて算出している。

出典：国勢調査、茨城県資料

図表3-3 茨城県の家族類型別一般世帯数の将来推計（2014年4月推計）

(単位：世帯)

	平成27年国調	推計値→				
	2015年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
総数	1,122,443	1,103,049	1,101,984	1,086,899	1,061,196	1,028,119
単独世帯	318,357	296,850	311,562	322,157	326,580	325,165
核家族世帯	644,317	647,358	649,275	638,634	621,332	600,293
夫婦のみの世帯	228,592	227,043	233,613	234,559	232,433	228,331
夫婦と子から成る世帯	313,791	314,594	303,347	287,707	270,657	253,563
ひとり親と子から成る世帯	101,934	105,720	112,316	116,369	118,242	118,398
その他一般世帯	155,804	158,842	141,147	126,108	113,284	102,661
(再掲) 65歳以上の単独世帯	100,117	96,776	111,978	120,533	126,824	133,320

出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所資料

単独世帯増加の背景

図表3-1の最下行「(参考) 親と同居している世帯」(類型 (5)、(6)、(7)、(8)、(11)、(12) の合計) の推移から、親子同居志向が低下していると考えられる。また、親子以外の親族の同居割合(類型 (9)、(10)、(13)、(14) の合計) は3.2%~3.4%と、元々非常に低い。

図表3-2の各比率推移から、晩婚化が顕著である上、離死別による単身化・片親化も進行している。結婚するか子供をもうけるか以外の方法で単独世帯を脱するためには、事実上誰か他の親族と同居するしかないが、少子高齢化の中でそもそも同居すべき親族がいないことも多いと思われる。これらの要因が相まって、単独世帯は増

加の一途を辿っているのではないかと考えられる。

家族類型毎の将来推計 (図表3-3)

2015年国勢調査の実績値(2015年10月1日現在)を、推計値(2014年4月推計)の2015年分と見比べてみると、「単独世帯」「夫婦のみ世帯」「65歳以上の単独世帯」は推計比上振れ、「夫婦と子から成る世帯」「ひとり親と子から成る世帯」「その他一般世帯(親やその他親族等との同居)」は推計比下振れとなっている。これは、少子高齢化と、親との同居志向の低下の度合いが、同研究所の推計時の予想以上に進行したことを示していると考えられる。

図表4-1 茨城県内の夫婦の労働力状態(夫の労働力状態を基準にした分類)

(単位:組)

年次	平成2年 1990年	平成7年 1995年	平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成27年 2015年
総数	718,243	754,136	763,645	754,280	740,264	715,222
夫が就業者	626,418	643,032	614,359	577,228	535,210	505,938
妻が就業者	358,851	362,437	353,083	340,036	324,743	329,731
妻が完全失業者	2,705	4,538	5,303	5,913	6,273	4,131
妻が非労働人口	264,658	275,907	255,790	231,073	202,429	171,484
夫が完全失業者	9,373	15,570	16,458	19,490	22,086	11,186
妻が就業者	3,284	5,519	6,650	7,513	8,679	4,737
妻が完全失業者	392	673	1,020	1,355	1,792	903
妻が非労働人口	5,696	9,377	8,783	10,618	11,563	5,532
夫が非労働人口	81,750	94,952	129,023	150,701	169,006	185,216
妻が就業者	9,726	11,424	16,052	17,831	19,474	24,729
妻が完全失業者	107	218	334	377	514	452
妻が非労働人口	71,825	83,272	112,607	132,470	148,758	159,898

※労働力状態「不詳」は除く。

出典: 国勢調査

図表4-2 茨城県内の夫婦の労働力状態(夫の労働力状態毎の割合)

年次	平成2年 1990年	平成7年 1995年	平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成27年 2015年
夫が就業者	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
妻が就業者	57.3%	56.4%	57.5%	58.9%	60.9%	65.2%
妻が完全失業者	0.4%	0.7%	0.9%	1.0%	1.2%	0.8%
妻が非労働人口	42.3%	42.9%	41.6%	40.0%	37.9%	33.9%
夫が完全失業者	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
妻が就業者	35.0%	35.4%	40.4%	38.6%	39.4%	42.4%
妻が完全失業者	4.2%	4.3%	6.2%	7.0%	8.1%	8.1%
妻が非労働人口	60.8%	60.2%	53.4%	54.5%	52.5%	49.5%
夫が非労働人口	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
妻が就業者	11.9%	12.0%	12.4%	11.8%	11.5%	13.4%
妻が完全失業者	0.1%	0.2%	0.3%	0.3%	0.3%	0.2%
妻が非労働人口	88.0%	87.7%	87.3%	87.9%	88.2%	86.4%

※構成比 (%) (労働力状態「不詳」は除いて算出)

出典: 国勢調査

4. 茨城県内夫婦の労働状況の変化

夫が就業者である夫婦に占める共働き夫婦の割合は引き続き拡大

共働き夫婦の割合について議論する場合、「どちらも働いていない夫婦」は初めから分母に含めないことが多い。これは、共働きかどうかを、妻「も」働いているかどうか、という観点で考えがちであることの反映と思われ、国勢調査結果の構成自体もそのような形になっている。この基準で算出した共働き割合は1990年57.3%→2015年65.2%であり、就業者がいる夫婦においては共働きの割合が引き続き拡大している。

※「完全失業者」と「非労働人口」の違い

国勢調査では、15歳以上人口をまず「労働力人口」と「非労働力人口」に分けている。労働力人口は更に、「就業者」と「完全失業者」に分けられる。

「就業者」は「月末1週間に少しでも仕事をした者」、「完全失業者」は「仕事についておらず、仕事があればすぐつくことができる者で、仕事を探す活動をしていた者」と定義されている。就業者・完全失業者の定義に当てはまらない人が「非労働人口」になる。家業を手伝っている人は無給でも就業者(家族従業者)になる。

図表5 茨城県内の介護保険要介護(要支援)認定者数推移

(単位：人)

【茨城県】	平成12年度 2000年度	平成13年度 2001年度	平成14年度 2002年度	平成15年度 2003年度	平成16年度 2004年度	平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度
第1号被保険者数	504,527	520,433	537,146	549,956	564,854	583,139	604,083	622,479	643,272
65歳以上75歳未満	291,661	294,839	300,918	302,395	306,025	313,948	324,282	332,211	344,185
75歳以上	212,866	225,594	236,228	247,561	258,829	269,191	279,801	290,268	299,087
要介護(要支援)認定者数	43,503	50,074	57,417	64,756	70,595	77,410	80,726	84,382	87,604
要介護認定率	8.6%	9.6%	10.7%	11.8%	12.5%	13.3%	13.4%	13.6%	13.6%
要支援1	3,605	4,357	5,439	6,479	7,527	8,251	4,604	5,405	6,090
要支援2	-	-	-	-	-	-	6,458	9,485	10,621
要介護1	9,930	12,635	15,392	19,049	21,573	24,376	19,762	15,688	15,163
要介護2	8,853	10,141	11,648	11,225	12,055	13,252	15,311	16,339	16,853
要介護3	7,389	7,988	8,623	10,057	10,900	11,814	13,849	15,388	16,111
要介護4	7,541	8,046	8,689	9,640	10,151	10,918	11,481	12,560	12,890
要介護5	6,185	6,907	7,626	8,306	8,389	8,799	9,261	9,517	9,876

※要介護(要支援)認定者数は、第2号被保険者を含む総数。

※「経過的要介護」は要介護1に含めて集計した。

【茨城県】	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	平成23年度 2011年度	平成24年度 2012年度	平成25年度 2013年度	平成26年度 2014年度	平成27年度 2015年度	平成28年度 2016年度	平成29年度 2017年度
第1号被保険者数	658,038	664,287	682,280	710,639	735,811	761,076	783,663	802,010	816,185
65歳以上75歳未満	350,119	346,419	356,104	373,941	392,410	409,173	419,015	423,624	427,398
75歳以上	307,919	317,868	326,176	336,698	343,401	351,903	364,648	378,386	388,787
要介護(要支援)認定者数	90,370	94,575	99,443	106,233	110,860	116,224	119,843	122,990	125,210
要介護認定率	13.7%	14.2%	14.6%	14.9%	15.1%	15.3%	15.3%	15.3%	15.3%
要支援1	6,943	7,559	7,477	8,468	9,352	10,334	10,426	10,507	10,522
要支援2	10,139	10,297	10,978	12,089	12,703	13,442	13,887	14,361	14,505
要介護1	16,364	17,654	18,854	20,830	22,268	23,743	25,290	26,470	27,476
要介護2	17,071	18,508	19,853	20,881	21,784	22,761	23,306	23,844	24,292
要介護3	15,482	15,080	15,840	16,844	17,338	17,994	18,705	19,031	19,481
要介護4	13,467	13,583	14,128	14,903	15,137	15,621	16,033	16,521	16,604
要介護5	10,904	11,894	12,313	12,218	12,278	12,329	12,196	12,256	12,330

出典：厚生労働省「介護保険事業状況報告」
(2017年度は2018年2月末現在)

5. 茨城県内の要介護認定者数推移と見込み

(単位：人)

介護保険制度は、国勢調査で茨城県の人口がピークに達した2000年に創設された。創設当初の認定率(図表の網掛け部分)は8.6%であったが、高齢化・制度の普及と共に一貫して緩やかに上昇、近年の認定率は15.3%程度で推移している(制度の第2号被保険者は40歳以上65歳未満の者であるが、第2号の認定者数は人数・認定率とも非常に少ない=2018年2月末現在で3,100人・0.3%=ため、公的資料でも合算認定者数と第1号被保険者数について議論されることが多い)。

尚、「第7期いばらき高齢者プラン21」(2018年6月20日公表)による要介護(要支援)認定者数・要介護認定率見込みは右記の通り。引き続き増加を見込んでいる。

	平成30年度 2018年度	平成31年度 2019年度	2020年度	2025年度
第1号被保険者数	824,196	835,173	845,858	860,950
認定者数計	126,571	130,931	135,576	154,442
認定率	15.4%	15.7%	16.0%	17.9%
要支援1	10,917	11,517	12,131	13,842
要支援2	14,643	15,224	15,665	18,129
要介護1	27,799	29,059	30,433	35,258
要介護2	24,268	24,762	25,506	28,816
要介護3	19,354	19,847	20,349	23,174
要介護4	16,907	17,334	17,844	20,026
要介護5	12,683	13,188	13,648	15,197

※第1号被保険者数は、保険者である各市町村が介護保険事業計画策定のために推計した65歳以上人口である。

第1章では、茨城県の人口減少・少子高齢化の状況について、公的統計資料を用いて多方面からの把握を試みた。しかし公的統計資料では、県民が日常の暮らしで感じる不安について直接確認するのは難しい。

そこで、県内在住の20歳以上の男女を対象に、暮らしの不安に関するアンケートを実施したので、概要及び主な結果を紹介する（モニターへのWEBアンケート/実施時期：2018年5月/有効回答数898人）。

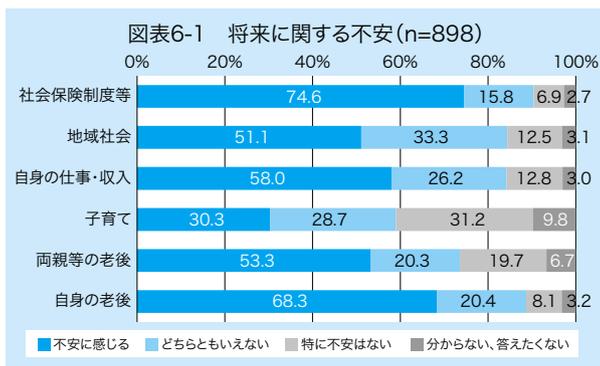
アンケートの内容

人口減少・少子高齢化に伴って不安に感じる人が多いと思われる下記6項目について、主に持続可能性や自身への負担の観点から不安の程度を尋ねた。

- ① 私達の暮らしを支える社会保険制度等（年金・医療・介護保険制度）の将来
- ② あなたが住む地域社会の将来（社会インフラ維持等）
- ③ あなた自身の仕事・収入（の安定性）について
- ④ 子育てについて
- ⑤ 両親等の老後の暮らしについて
- ⑥ あなた自身の老後の暮らしについて

子育てを除く全ての項目で半数以上が将来に不安

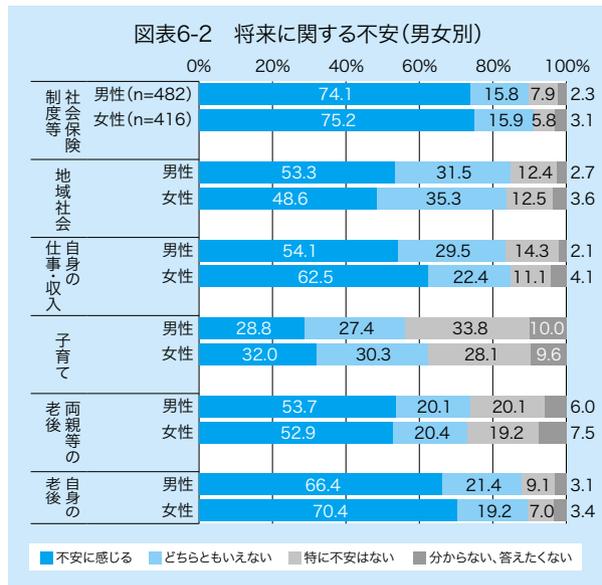
まず、全体の結果について項目別にみると、『不安に感じる』の割合（以下、不安度）が最も高いのは「社会保険制度等」74.6%、次いで「自身の老後」68.3%、「自身の仕事・収入」58.0%となっている。「子育て」を除くすべての項目で、50%以上が不安を感じている（図表6-1）。



性別による不安度にあまり違いは見られず

男女別に見ると、「自身の仕事・収入」について女性

の不安の割合が男性よりも高い（+8.4ポイント）ものの、それ以外は目立った違いは見られない（図表6-2）。



目立つ20代、40代の不安度の高さ

年代別に見ると、各年代とも「社会保険制度等」の不安度が最も高い。次いで、20代は「両親等の老後」が高く、それ以外の年代は「自身の老後」が高い（図表6-3）。

年代別の比較では、幾つの特徴が見られた。第一に「子育て」の項目では、年代が若くなるにつれ不安度が高い。20代の56.9%に対し、60代は10.9%と、年代による差も大きい。

第二に、40代は「社会保険制度等」、「自身の仕事・収入」、「両親の老後」、「自身の老後」、「子育て」の4項目で、他の全ての年代よりも不安度が高い。

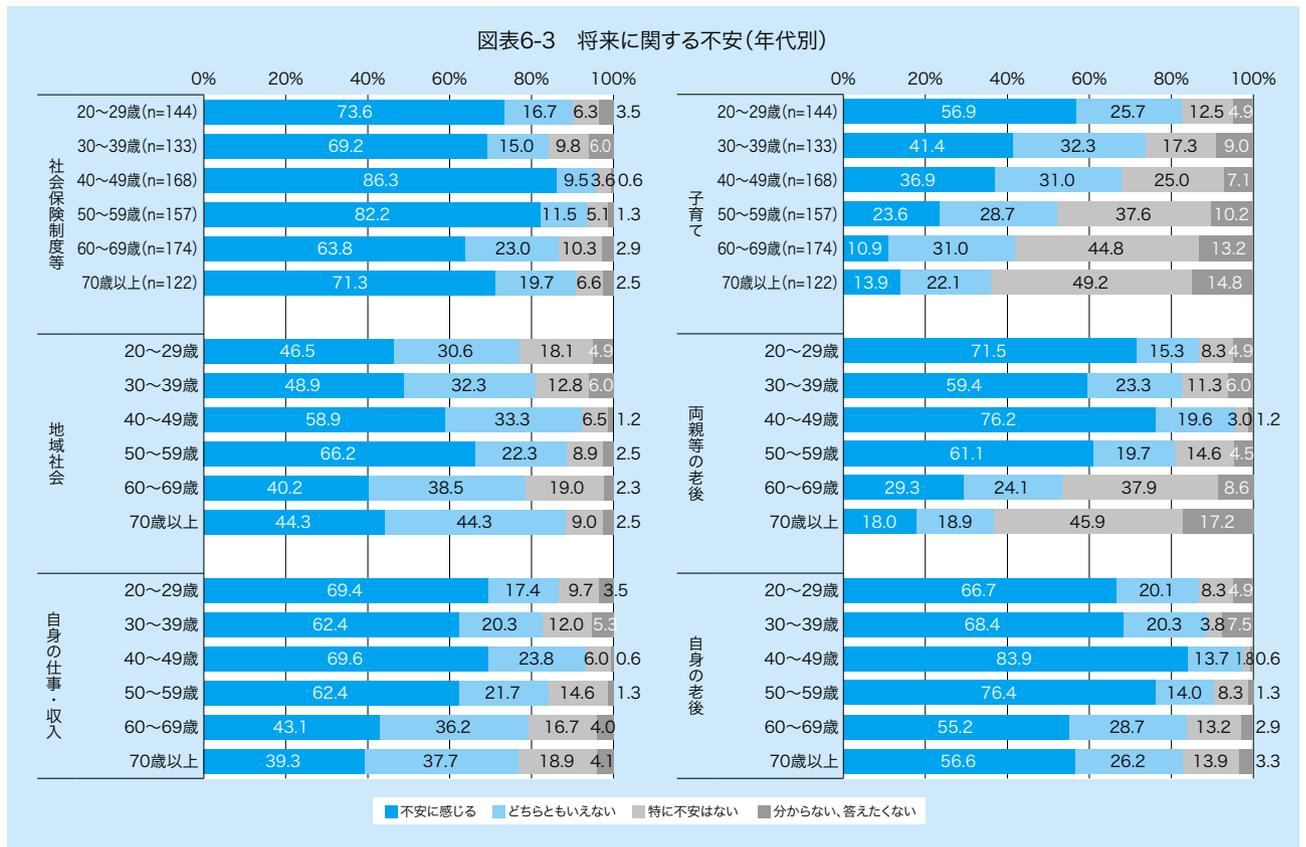
尚、「子育て」と「両親等の老後」の2項目のみ、「特に不安はない」の回答割合が年齢層の上昇と共に急拡大するが、これは不安の対象の有無の変化（子供はもう手離れた、親はもう亡くなった、等）によると考えられる。

世帯構成や家族との関係により不安度に違いも

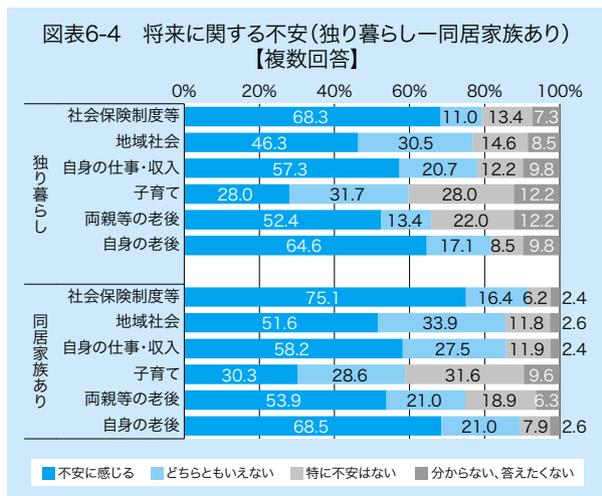
ここからは、子供や親の有無（同居・近居）等、世帯（家族）構成や、親の介護の有無、家族の就業状況等により、不安度に差があるかどうかについて見ていく。

【独り暮らしー同居家族あり】

独り暮らし（注：配偶者や子供等の近居家族も無し）



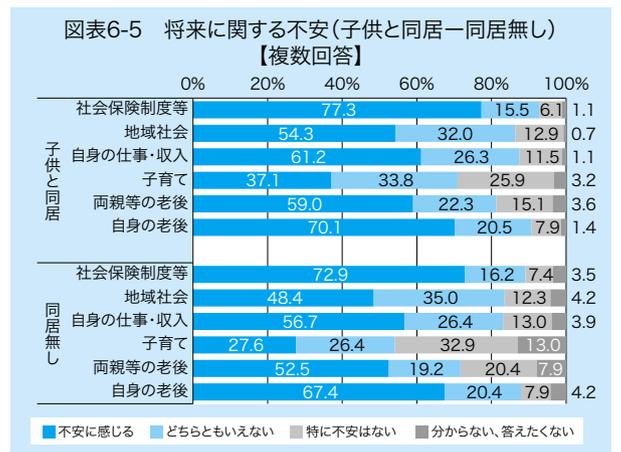
の人と、同居家族が1人以上いる人の不安度を比べると、「社会保険制度等」や「地域社会」等で、同居家族ありが独り暮らしを上回った(図表6-4)。



【子供と同居ありー同居無し】

子供と同居している人と、同居していない人(注:子供を産んでいない人も含む)の不安度を比べると、「子

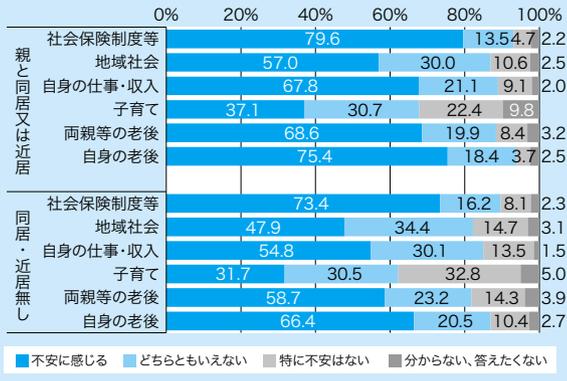
育て」で、同居ありが同居無しを9.5ポイント上回った(図表6-5)。



【親と同居又は近居ー同居・近居無し】

親と同居又は近居している人と、同居・近居していない人の不安度を比べると、全ての項目で、同居又は近居が、同居・近居無しを上回り、特に「両親等の老後」は9.9ポイント上回った(図表6-6)。

図表6-6 将来に関する不安
(親と同居又は近居一同居・近居無し)【複数回答】

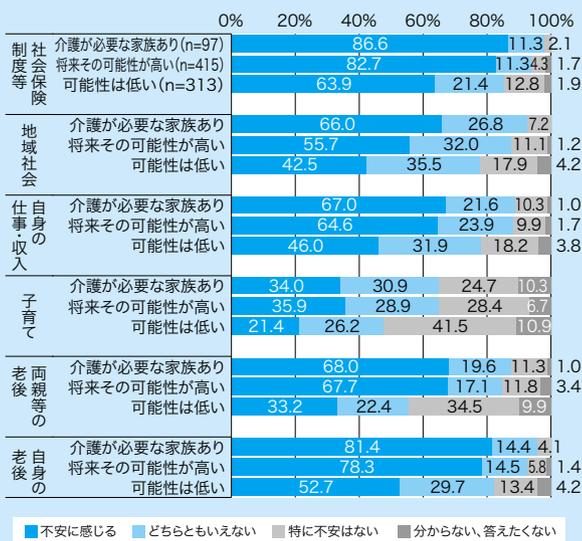


【介護が必要な家族あり—今後そうなる可能性が高い—可能性が低い】

現在介護が必要な家族がいる人、将来そうなる可能性が高い人、可能性は低い人の不安度を比べると、各項目ともこの順で不安度が低くなる傾向が見られる(図表6-7)。

特に、介護が必要な家族ありと、その可能性が低いとの差は、「社会保険制度等」で22.7ポイント、「両親等の老後」で34.8ポイント、「自身の老後」で28.7ポイントと非常に大きくなっている。

図表6-7 将来に関する不安
(介護が必要な家族あり—可能性高一可能性低)

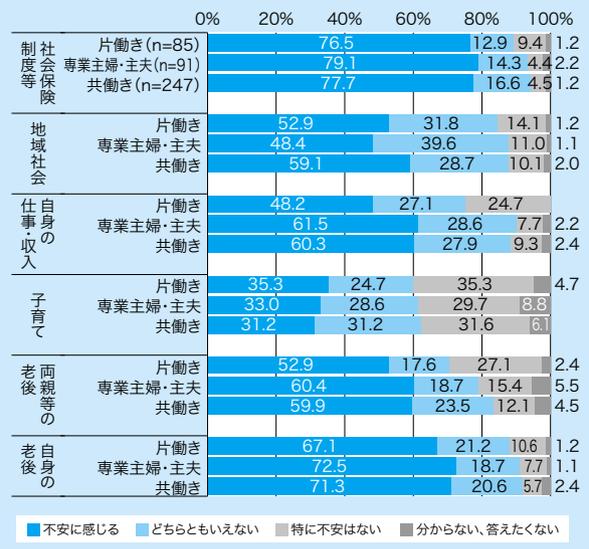


【片働き—専業主婦(主夫)—共働き】

片働きの人(自身が働き手)と専業主婦・主夫、共働

きの人(本人と配偶者が共に働く)の不安度を比べると、「自身の仕事・収入」で、専業主婦・主夫と共働きが共に、片働きを10ポイント超上回っている(図表6-8)。また、「地域社会」で、共働きが専業主婦・主夫を10.7ポイント上回っている。

図表6-8 将来に関する不安
(片働き—専業主婦・主夫—共働き)



アンケート結果の分析・検討

茨城県民は、社会保険制度等から自身の老後まで幅広い項目で、高い将来不安を感じていた。最も不安度の高い項目は社会保険制度等であったが、その理由として、制度上の問題は個々の努力では解決出来ないこと、制度そのものの分かり難さ等が関係しているものと思われる。

年齢別では、現役世代の将来不安の高さが目立った。40代の不安度が高いのは、仕事やライフイベントの関係で負担(ストレス)が大きいとされることと総合的である。一方、実社会にこれから入る、あるいは経験の浅い20代の高い将来不安は、“将来への期待に乏しい世代”としての傾向かもしれない。

子育てや家族の介護に直面している当事者は、そうでない人よりも、それらに関する項目の将来不安が高かった。加えて、家族との物理的距離(同居・近居・遠居)や親などの健康状態が、項目によっては自らの将来不安にも影響を与えていると見られる。

常陽アークでは、大きな将来不安を抱えている若い世代を支えていくための方策を引き続き探していきたい。

常にある程度の不安と隣り合わせで人生を歩む時代

— 常磐大学 人間科学部 教授（博士（人間科学）） 水嶋 陽子氏 —

今回のインターネットアンケート結果を踏まえ、本号の「私の論点」にもご寄稿頂いた水嶋陽子教授に、茨城県民が県内の人口減少・少子高齢化に伴い日常の暮らしで感じている不安等についてお話を伺った。

—暮らしに関する不安は親との同居・持ち家等、安定感をもたらす要素の有無に左右されるかと予想していたが。

一般的に、当事者よりも、そうなる前の人の方が不安は大きい。子育てについては未婚者、老後については40代～50代の方が不安は大きい。実際に直面すれば支援もあるし楽しみもあるものだが、情報が無いから怖がる。

家族ストレスというものがある。家族からの支援が少なすぎても多すぎても共にストレスになるということ。支援が多すぎれば有難迷惑となるため「ほどほど」が良いということである。

—収入に関する不安と、親との同居や持ち家について。

外に出られるほどの教育を受けた人、安定した収入が得られるようになった人は地元を離れるが、そうでない人は地元で定着せざるを得ない、その結果アンケートを取ると親と同居している人の方が収入に関する不安が大きく出る、ということが考えられる。また、特に女性には「夫の収入は夫婦としてのもの」という発想が強いので、専業主婦は自分に収入が無くても収入不安を感じないということもある。

持ち家との関係についても、茨城県は元々持ち家率は低くない（全体で7割程度）とか、特に女性は法的な所有関係に関わらず配偶者の持ち家なら自己所有と認識してしまう傾向があるとか様々な理由で、持ち家に絡めてアンケートを取っても結果は出にくい。

—少子高齢化といえば、やはり老親や自分自身の老後不安・介護不安の問題が強く意識されるが。

介護現場を見ていると、生活能力が著しく低下した

人のひとり暮らしが非常に多くて驚く。今のお年寄りはまだ兄弟姉妹が多く、その子供達がお年寄りの面倒を見ることが出来ている。しかし高齢者人口がピークとなる2045年頃には身内による安否確認すら難しくなるだろう。

最近の人の介護意識の特徴として、男女とも「配偶者の親より自分の親の介護を優先したい」ということがある。「いえ意識」に基づく介護意識ではなく、親子関係に基づく介護意識である。

今の人は、介護に関わろうという気持ちはあるが、全部自分で抱えることは考えていない。60代70代で介護に専念している人に欲しいものを尋ねても、60代の人は「自分の時間」、70代の人は「これから先の見通し」が欲しいと答える。介護には関わらなければならないライフスタイルを求めていると言える。ワーク・ライフ・バランスの議論とも通じるが、ここで言うライフスタイルとは「個として生きられる時間が確保出来るライフスタイル」である。

—本号調査のまとめを含め、専門の見地からご意見を。

一般には、40代～50代がストレス大と言われている。これは仕事・子育て・介護のストレスが重なるからということであり、今回のアンケート結果でも40代の不安度の高さが指摘されているが、細かく見ると必ずしもそうとは言えない面もある。長寿化・高齢化に伴って、不安の要素が人生後半に拡散しているということかもしれない。

アンケート結果を見ると、どの年代・どの属性にも相当不安が広がっていること自体が特徴と言える。ある程度の不安定さを常に抱えて歩む時代ということで、それがアンケート結果の最大のポイントだろう。

社会保障は、これからは人生の前半にも手厚くしなければならぬ。昔ならば自力で頑張って残った人達が活躍したが、少子化の現在は、取りこぼしが出来ない人数しか生まれていないので、一人一人をより大切にすることが必要になっている。

[別表] 茨城県及び県内市町村別人口と自然増減の推移(平成11年以降)(平成18年4月行政区画=44市町村=による)①

※人口は各年10月1日現在、自然増減は暦年

県・市町村名	平成11年 1999年	平成12年 2000年	平成13年 2001年	平成14年 2002年	平成15年 2003年	平成16年 2004年	平成17年 2005年	平成18年 2006年	平成19年 2007年
茨城県	2,998,967	2,985,676	2,991,172	2,992,538	2,992,152	2,991,589	2,975,167	2,971,798	2,970,800
前年比増減	-	▲13,291	5,496	1,366	▲386	▲563	▲16,422	▲3,369	▲998
自然増減	5,211	5,735	5,062	3,881	2,226	2,032	▲1,304	▲725	▲976
水戸市	262,496	261,562	261,979	262,949	263,845	264,136	262,603	263,267	263,661
前年比増減	-	▲934	417	970	896	291	▲1,533	664	394
自然増減	870	903	812	773	607	570	364	446	427
日立市	208,084	206,589	205,686	204,679	203,502	201,785	199,218	197,880	196,251
前年比増減	-	▲1,495	▲903	▲1,007	▲1,177	▲1,717	▲2,567	▲1,338	▲1,629
自然増減	647	578	539	515	259	188	▲76	▲41	▲72
土浦市	145,168	144,106	144,669	144,788	144,404	144,612	144,060	143,703	143,909
前年比増減	-	▲1,062	563	119	▲384	208	▲552	▲357	206
自然増減	301	345	397	225	168	245	84	126	76
古河市	147,774	146,452	146,701	146,674	146,640	146,714	145,265	144,760	144,389
前年比増減	-	▲1,322	249	▲27	▲34	74	▲1,449	▲505	▲371
自然増減	293	305	371	279	182	282	64	▲50	▲7
石岡市	83,781	83,119	83,099	83,053	83,147	83,048	81,887	81,277	80,598
前年比増減	-	▲662	▲20	▲46	94	▲99	▲1,161	▲610	▲679
自然増減	32	94	0	49	▲6	▲27	▲74	▲210	▲284
結城市	53,507	52,774	52,808	52,803	52,858	52,851	52,460	52,317	52,048
前年比増減	-	▲733	34	▲5	55	▲7	▲391	▲143	▲269
自然増減	14	62	20	▲31	▲14	27	▲51	▲81	▲21
龍ヶ崎市	76,185	76,923	77,775	78,557	79,274	79,879	78,950	79,178	79,117
前年比増減	-	738	852	782	717	605	▲929	228	▲61
自然増減	167	239	228	204	131	184	75	88	82
下妻市	46,876	46,544	46,742	46,788	46,816	46,863	46,435	46,188	46,001
前年比増減	-	▲332	198	46	28	47	▲428	▲247	▲187
自然増減	47	125	99	108	59	35	▲5	▲8	▲47
常総市	67,342	66,245	66,815	66,815	67,213	67,551	66,536	66,107	66,018
前年比増減	-	▲1,097	573	▲3	398	338	▲1,015	▲429	▲89
自然増減	55	70	47	18	▲4	▲27	▲108	▲57	▲63
常陸太田市	62,639	61,869	61,718	61,442	61,118	60,578	59,802	59,109	58,573
前年比増減	-	▲770	▲151	▲276	▲324	▲540	▲776	▲693	▲536
自然増減	▲291	▲301	▲276	▲288	▲355	▲360	▲425	▲361	▲368
高萩市	34,946	34,602	34,495	34,254	33,983	33,579	32,932	32,438	32,022
前年比増減	-	▲344	▲107	▲241	▲271	▲404	▲647	▲494	▲416
自然増減	▲26	▲79	▲21	▲42	▲62	▲79	▲109	▲114	▲126
北茨城市	52,167	51,593	51,364	51,115	50,678	50,219	49,645	49,058	48,539
前年比増減	-	▲574	▲229	▲249	▲437	▲459	▲574	▲587	▲519
自然増減	▲72	▲73	▲49	▲71	▲121	▲102	▲201	▲185	▲239
笠間市	82,425	82,358	82,587	82,432	82,119	81,964	81,497	81,029	80,661
前年比増減	-	▲67	229	▲155	▲313	▲155	▲467	▲468	▲368
自然増減	1	71	36	5	▲30	▲36	▲155	▲116	▲145
取手市	117,910	115,993	115,055	114,155	113,803	112,818	111,327	110,633	110,004
前年比増減	-	▲1,917	▲938	▲900	▲352	▲985	▲1,491	▲694	▲629
自然増減	274	200	63	48	39	53	▲123	▲30	▲193
牛久市	72,440	73,258	74,133	74,829	75,433	76,116	77,223	77,843	78,980
前年比増減	-	818	875	696	604	683	1,107	620	1,137
自然増減	262	266	282	248	316	258	179	213	249
つくば市	190,078	191,814	193,461	195,046	196,247	198,176	200,528	203,280	206,661
前年比増減	-	1,736	1,647	1,585	1,201	1,929	2,352	2,752	3,381
自然増減	1,040	1,142	986	1,016	921	858	635	884	884
ひたちなか市	151,010	151,673	152,142	152,309	152,860	153,250	153,639	154,579	155,184
前年比増減	-	663	469	167	551	390	389	940	605
自然増減	882	996	890	756	756	574	475	534	472
鹿嶋市	62,631	62,287	62,789	63,104	63,621	63,935	64,435	64,781	65,081
前年比増減	-	▲344	502	315	517	314	500	346	300
自然増減	225	138	143	109	118	92	32	69	54
潮来市	31,760	31,944	31,932	31,886	31,530	31,458	31,524	31,280	31,089
前年比増減	-	184	▲12	▲46	▲356	▲72	66	▲244	▲191
自然増減	▲5	▲3	▲40	▲46	▲94	▲12	▲67	▲60	▲90
守谷市	49,116	50,362	51,305	51,974	52,564	53,180	53,700	55,765	57,399
前年比増減	-	1,246	943	669	590	616	520	2,065	1,634
自然増減	204	180	222	270	170	281	162	286	297
常陸大宮市	49,227	48,964	48,827	48,591	48,233	48,073	47,808	47,386	46,883
前年比増減	-	▲263	▲137	▲236	▲358	▲160	▲265	▲422	▲503
自然増減	▲160	▲164	▲166	▲206	▲168	▲220	▲279	▲273	▲223
那珂市	55,102	55,069	55,356	55,484	55,387	55,456	54,705	54,614	54,528
前年比増減	-	▲33	287	128	▲97	69	▲751	▲91	▲86
自然増減	4	▲4	16	14	▲67	▲25	▲146	▲143	▲47

(単位：人)

平成20年 2008年	平成21年 2009年	平成22年 2010年	平成23年 2011年	平成24年 2012年	平成25年 2013年	平成26年 2014年	平成27年 2015年	平成28年 2016年	平成29年 2017年
2,968,396	2,967,404	2,969,770	2,956,854	2,945,824	2,933,381	2,921,184	2,916,976	2,907,262	2,896,675
▲ 2,404	▲ 992	2,366	▲ 12,916	▲ 11,030	▲ 12,443	▲ 12,197	▲ 4,208	▲ 9,714	▲ 10,587
▲ 2,479	▲ 3,371	▲ 4,325	▲ 6,453	▲ 6,781	▲ 7,767	▲ 8,014	▲ 9,149	▲ 10,145	▲ 11,412
264,171	265,270	268,750	269,025	269,681	270,859	270,876	270,783	271,047	270,775
510	1,099	3,480	275	656	1,178	17	▲ 93	264	▲ 272
277	250	69	▲ 35	▲ 89	▲ 76	▲ 95	▲ 250	▲ 240	▲ 230
194,750	193,559	193,129	191,422	189,829	187,503	185,206	185,054	182,905	180,781
▲ 1,501	▲ 1,191	▲ 430	▲ 1,707	▲ 1,593	▲ 2,326	▲ 2,297	▲ 152	▲ 2,149	▲ 2,124
▲ 333	▲ 354	▲ 467	▲ 669	▲ 683	▲ 696	▲ 750	▲ 965	▲ 1,009	▲ 1,056
143,700	144,534	143,839	143,460	143,404	142,567	142,059	140,804	140,226	139,653
▲ 209	834	▲ 695	▲ 379	▲ 56	▲ 837	▲ 508	▲ 1,255	▲ 578	▲ 573
16	▲ 185	▲ 120	▲ 81	▲ 254	▲ 282	▲ 320	▲ 428	▲ 444	▲ 483
144,228	143,870	142,995	142,435	142,298	141,952	141,188	140,946	140,509	140,556
▲ 161	▲ 358	▲ 875	▲ 560	▲ 137	▲ 346	▲ 764	▲ 242	▲ 437	47
38	▲ 80	▲ 182	▲ 294	▲ 251	▲ 314	▲ 408	▲ 434	▲ 443	▲ 427
80,105	79,307	79,687	78,849	78,057	77,302	76,713	76,020	75,346	74,666
▲ 493	▲ 798	380	▲ 838	▲ 792	▲ 755	▲ 589	▲ 693	▲ 674	▲ 680
▲ 253	▲ 215	▲ 318	▲ 336	▲ 370	▲ 465	▲ 386	▲ 413	▲ 456	▲ 480
52,145	52,180	52,494	52,187	51,901	51,726	51,642	51,594	51,603	51,476
97	35	314	▲ 307	▲ 286	▲ 175	▲ 84	▲ 48	9	▲ 127
▲ 59	▲ 33	▲ 119	▲ 122	▲ 162	▲ 133	▲ 135	▲ 178	▲ 193	▲ 203
79,215	79,410	80,334	80,014	79,570	79,279	78,945	78,342	77,894	77,433
98	195	924	▲ 320	▲ 444	▲ 291	▲ 334	▲ 603	▲ 448	▲ 461
40	▲ 35	▲ 2	▲ 11	▲ 131	▲ 132	▲ 206	▲ 147	▲ 222	▲ 276
45,594	45,437	44,987	44,527	44,125	43,829	43,511	43,293	42,996	42,705
▲ 407	▲ 157	▲ 450	▲ 460	▲ 402	▲ 296	▲ 318	▲ 218	▲ 297	▲ 291
▲ 14	▲ 73	▲ 86	▲ 96	▲ 184	▲ 114	▲ 164	▲ 164	▲ 182	▲ 165
65,815	65,540	65,320	64,778	64,258	63,634	62,957	61,483	60,893	60,829
▲ 203	▲ 275	▲ 220	▲ 542	▲ 520	▲ 624	▲ 677	▲ 1,474	▲ 590	▲ 64
▲ 103	▲ 168	▲ 167	▲ 224	▲ 220	▲ 267	▲ 259	▲ 275	▲ 286	▲ 339
57,750	56,987	56,250	55,424	54,573	53,684	52,959	52,294	51,454	50,728
▲ 823	▲ 763	▲ 737	▲ 826	▲ 851	▲ 889	▲ 725	▲ 665	▲ 840	▲ 726
▲ 471	▲ 449	▲ 464	▲ 596	▲ 551	▲ 548	▲ 544	▲ 558	▲ 537	▲ 576
31,746	31,274	31,017	30,592	30,226	29,815	29,481	29,638	29,207	28,768
▲ 276	▲ 472	▲ 257	▲ 425	▲ 366	▲ 411	▲ 334	157	▲ 431	▲ 439
▲ 107	▲ 133	▲ 179	▲ 138	▲ 208	▲ 168	▲ 200	▲ 214	▲ 173	▲ 187
47,861	47,374	47,026	46,208	45,468	44,782	44,220	44,412	43,716	43,135
▲ 678	▲ 487	▲ 348	▲ 818	▲ 740	▲ 686	▲ 562	192	▲ 696	▲ 581
▲ 241	▲ 316	▲ 227	▲ 342	▲ 300	▲ 365	▲ 312	▲ 350	▲ 303	▲ 356
80,365	79,806	79,409	78,862	78,279	77,723	77,351	76,739	76,160	75,698
▲ 296	▲ 559	▲ 397	▲ 547	▲ 583	▲ 556	▲ 372	▲ 612	▲ 579	▲ 462
▲ 301	▲ 222	▲ 257	▲ 336	▲ 326	▲ 341	▲ 335	▲ 340	▲ 351	▲ 409
109,673	109,543	109,651	108,938	107,894	107,310	107,025	106,570	105,985	105,447
▲ 331	▲ 130	108	▲ 713	▲ 1,044	▲ 584	▲ 285	▲ 455	▲ 585	▲ 538
▲ 59	▲ 143	▲ 168	▲ 299	▲ 322	▲ 385	▲ 411	▲ 479	▲ 436	▲ 527
80,049	80,939	81,684	82,458	82,919	83,531	83,952	84,317	84,704	84,820
1,069	890	745	774	461	612	421	365	387	116
197	194	249	109	164	91	94	64	▲ 15	▲ 39
209,411	212,445	214,590	215,887	217,315	219,402	221,119	226,963	230,398	233,549
2,750	3,034	2,145	1,297	1,428	2,087	1,717	5,844	3,435	3,151
847	789	825	647	649	695	821	637	603	554
155,960	156,651	157,060	157,141	157,153	156,964	156,704	155,689	155,884	155,970
776	691	409	81	12	▲ 189	▲ 260	▲ 1,015	195	86
351	281	244	163	145	▲ 72	52	▲ 72	▲ 29	▲ 231
65,513	65,785	66,093	66,562	66,688	66,700	66,802	67,879	67,754	67,802
432	272	308	469	126	12	102	1,077	▲ 125	48
18	38	46	▲ 8	▲ 46	▲ 64	▲ 103	▲ 119	▲ 139	▲ 156
30,984	30,705	30,534	30,130	29,876	29,621	29,249	29,111	28,849	28,491
▲ 105	▲ 279	▲ 171	▲ 404	▲ 254	▲ 255	▲ 372	▲ 138	▲ 262	▲ 358
▲ 55	▲ 93	▲ 142	▲ 118	▲ 122	▲ 129	▲ 169	▲ 106	▲ 166	▲ 183
58,861	60,701	62,482	62,884	63,279	63,693	64,182	64,753	65,560	66,230
1,462	1,840	1,781	402	395	414	489	571	807	670
295	322	371	306	333	289	251	236	176	144
46,435	45,881	45,178	44,586	44,077	43,496	42,963	42,587	42,018	41,342
▲ 448	▲ 554	▲ 703	▲ 592	▲ 509	▲ 581	▲ 533	▲ 376	▲ 569	▲ 676
▲ 239	▲ 266	▲ 363	▲ 378	▲ 419	▲ 366	▲ 331	▲ 394	▲ 434	▲ 447
54,367	54,302	54,240	53,974	53,920	53,835	53,754	54,276	54,110	53,897
▲ 161	▲ 65	▲ 62	▲ 266	▲ 54	▲ 85	▲ 81	522	▲ 166	▲ 213
▲ 157	▲ 115	▲ 99	▲ 172	▲ 186	▲ 206	▲ 164	▲ 216	▲ 300	▲ 237

[別表] 茨城県及び県内市町村別人口と自然増減の推移(平成11年以降)(平成18年4月行政区画=44市町村=による)②

※人口は各年10月1日現在、自然増減は暦年

県・市町村名	平成11年 1999年	平成12年 2000年	平成13年 2001年	平成14年 2002年	平成15年 2003年	平成16年 2004年	平成17年 2005年	平成18年 2006年	平成19年 2007年
筑西市	118,047	116,120	115,876	115,303	114,804	114,124	112,581	111,654	111,009
前年比増減	-	▲1,927	▲244	▲573	▲499	▲680	▲1,543	▲927	▲645
自然増減	64	140	83	38	▲67	▲111	▲182	▲249	▲254
坂東市	59,438	58,673	58,504	58,161	58,019	57,879	57,516	57,262	57,193
前年比増減	-	▲765	▲169	▲343	▲142	▲140	▲363	▲254	▲69
自然増減	▲10	35	19	29	▲3	▲41	▲146	▲72	▲56
稲敷市	51,821	51,284	51,103	50,955	50,500	50,264	49,689	48,944	48,296
前年比増減	-	▲537	▲181	▲148	▲455	▲236	▲575	▲745	▲648
自然増減	▲114	▲124	▲97	▲101	▲221	▲110	▲212	▲260	▲210
かすみがうら市	45,798	45,229	45,263	45,198	45,094	45,051	44,603	44,422	44,379
前年比増減	-	▲569	34	▲65	▲104	▲43	▲448	▲181	▲43
自然増減	112	140	109	75	52	39	▲18	▲17	28
桜川市	51,094	50,334	50,024	49,536	49,165	48,992	48,400	47,997	47,590
前年比増減	-	▲760	▲310	▲488	▲371	▲173	▲592	▲403	▲407
自然増減	▲30	15	▲114	▲162	▲161	▲114	▲216	▲175	▲226
神栖市	86,685	87,626	88,647	89,795	90,172	90,646	91,867	92,506	93,315
前年比増減	-	941	1,021	1,148	377	474	1,221	639	809
自然増減	444	456	544	432	421	387	282	272	335
行方市	41,817	41,465	41,306	41,173	40,921	40,716	40,035	39,593	39,179
前年比増減	-	▲352	▲159	▲133	▲252	▲205	▲681	▲442	▲414
自然増減	▲109	▲165	▲135	▲111	▲166	▲169	▲191	▲199	▲229
鉾田市	51,737	50,915	51,128	51,192	51,315	51,383	51,054	51,049	50,802
前年比増減	-	▲822	213	64	123	68	▲329	▲5	▲247
自然増減	▲66	▲41	▲123	▲66	▲137	▲156	▲233	▲188	▲245
つくばみらい市	40,698	40,532	40,536	40,580	40,513	40,432	40,174	40,523	41,697
前年比増減	-	▲166	4	44	▲67	▲81	▲258	349	1,174
自然増減	28	▲39	25	▲32	▲53	▲87	▲108	▲77	▲25
小美玉市	53,536	53,406	53,603	53,716	53,884	54,009	53,265	53,084	52,826
前年比増減	-	▲130	197	113	168	125	▲744	▲181	▲258
自然増減	92	111	93	56	62	▲15	21	▲6	▲45
茨城町	35,702	35,296	35,217	35,032	34,907	34,863	35,008	34,968	34,897
前年比増減	-	▲406	▲79	▲185	▲125	▲44	145	▲40	▲71
自然増減	▲36	▲76	▲56	▲94	▲73	▲142	▲120	▲93	▲92
大洗町	20,127	19,957	19,985	19,929	19,730	19,500	19,205	19,007	18,788
前年比増減	-	▲170	28	▲56	▲199	▲230	▲295	▲198	▲219
自然増減	▲22	▲21	▲52	▲75	▲81	▲66	▲82	▲99	▲104
城里町	23,044	23,007	23,058	23,059	23,015	22,926	22,993	22,790	22,677
前年比増減	-	▲37	51	1	▲44	▲89	67	▲203	▲113
自然増減	▲106	▲53	▲80	▲86	▲88	▲92	▲101	▲88	▲97
東海村	33,973	34,333	34,582	34,885	35,136	35,384	35,450	35,926	36,239
前年比増減	-	360	249	303	251	248	66	476	313
自然増減	232	248	216	206	223	197	164	135	175
大子町	24,384	23,982	23,643	23,321	23,026	22,672	22,103	21,641	21,146
前年比増減	-	▲402	▲339	▲322	▲295	▲354	▲569	▲462	▲495
自然増減	▲195	▲154	▲161	▲174	▲206	▲183	▲217	▲238	▲245
美浦村	18,337	18,219	18,137	18,266	18,329	18,254	18,118	17,936	17,782
前年比増減	-	▲118	▲82	129	63	▲75	▲136	▲182	▲154
自然増減	73	23	54	1	40	11	14	7	34
阿見町	46,907	46,922	47,076	47,175	47,303	47,773	47,994	47,730	47,725
前年比増減	-	15	154	99	128	470	221	▲264	▲5
自然増減	124	142	122	105	75	117	38	25	▲15
河内町	11,560	11,502	11,409	11,309	11,197	11,079	10,959	10,785	10,611
前年比増減	-	▲58	▲93	▲100	▲112	▲118	▲120	▲174	▲174
自然増減	▲45	▲19	▲46	▲53	▲60	▲62	▲86	▲71	▲76
八千代町	24,716	24,352	24,393	24,317	24,261	24,193	23,609	23,569	23,526
前年比増減	-	▲364	41	▲76	▲56	▲68	▲584	▲40	▲43
自然増減	▲6	17	45	▲4	▲55	▲42	▲48	▲68	▲53
五霞町	10,267	10,218	10,239	10,180	10,064	10,009	9,873	9,874	9,769
前年比増減	-	▲49	21	▲59	▲116	▲55	▲136	1	▲105
自然増減	▲23	▲10	▲34	▲25	▲29	▲36	▲19	▲34	▲59
境町	27,225	27,171	27,173	27,080	27,103	26,992	26,468	26,260	26,165
前年比増減	-	▲54	2	▲93	23	▲111	▲524	▲208	▲95
自然増減	81	50	89	44	26	▲7	▲21	▲68	▲52
利根町	19,390	19,033	18,829	18,649	18,419	18,207	18,024	17,806	17,593
前年比増減	-	▲357	▲204	▲180	▲230	▲212	▲183	▲218	▲213
自然増減	▲41	▲30	▲38	▲75	▲78	▲45	▲74	▲79	▲81

(単位：人)

平成20年 2008年	平成21年 2009年	平成22年 2010年	平成23年 2011年	平成24年 2012年	平成25年 2013年	平成26年 2014年	平成27年 2015年	平成28年 2016年	平成29年 2017年
110,079	108,976	108,527	107,654	106,835	105,816	104,968	104,573	103,788	102,818
▲ 930	▲ 1,103	▲ 449	▲ 873	▲ 819	▲ 1,019	▲ 848	▲ 395	▲ 785	▲ 970
▲ 312	▲ 395	▲ 400	▲ 384	▲ 441	▲ 472	▲ 546	▲ 512	▲ 659	▲ 647
56,946	56,524	56,114	55,835	55,576	55,275	54,762	54,087	53,755	53,242
▲ 247	▲ 422	▲ 410	▲ 279	▲ 259	▲ 301	▲ 513	▲ 675	▲ 332	▲ 513
▲ 24	▲ 203	▲ 179	▲ 174	▲ 177	▲ 172	▲ 262	▲ 251	▲ 309	▲ 397
47,729	47,132	46,895	46,058	45,412	44,556	43,827	42,810	42,217	41,392
▲ 567	▲ 597	▲ 237	▲ 837	▲ 646	▲ 856	▲ 729	▲ 1,017	▲ 593	▲ 825
▲ 267	▲ 309	▲ 325	▲ 395	▲ 329	▲ 421	▲ 352	▲ 374	▲ 442	▲ 465
44,331	43,828	43,553	43,310	43,072	42,515	42,108	42,147	41,706	41,297
▲ 48	▲ 503	▲ 275	▲ 243	▲ 238	▲ 557	▲ 407	39	▲ 441	▲ 409
▲ 36	▲ 55	▲ 84	▲ 127	▲ 170	▲ 179	▲ 171	▲ 188	▲ 238	▲ 305
47,058	46,575	45,673	45,105	44,449	43,826	43,190	42,632	42,000	41,278
▲ 532	▲ 483	▲ 902	▲ 568	▲ 656	▲ 623	▲ 636	▲ 558	▲ 632	▲ 722
▲ 217	▲ 275	▲ 272	▲ 361	▲ 311	▲ 321	▲ 357	▲ 380	▲ 356	▲ 414
93,733	94,320	94,795	94,292	94,446	94,143	94,135	94,522	94,787	95,052
418	587	475	▲ 503	154	▲ 303	▲ 8	387	265	265
276	276	196	114	172	31	57	89	▲ 53	▲ 109
38,725	38,253	37,611	36,878	36,521	35,967	35,472	34,909	34,418	33,914
▲ 454	▲ 472	▲ 642	▲ 733	▲ 357	▲ 554	▲ 495	▲ 563	▲ 491	▲ 504
▲ 249	▲ 237	▲ 329	▲ 329	▲ 302	▲ 319	▲ 316	▲ 339	▲ 324	▲ 365
50,635	50,450	50,156	49,418	49,073	48,355	47,820	48,147	47,975	47,463
▲ 167	▲ 185	▲ 294	▲ 738	▲ 345	▲ 718	▲ 535	327	▲ 172	▲ 512
▲ 233	▲ 251	▲ 308	▲ 323	▲ 280	▲ 399	▲ 347	▲ 323	▲ 342	▲ 457
42,647	43,557	44,461	45,198	45,756	46,517	47,652	49,136	49,881	50,548
950	910	904	737	558	761	1,135	1,484	745	667
▲ 32	48	69	24	68	82	128	43	79	74
52,622	52,547	52,279	52,072	51,950	51,844	51,290	50,911	50,528	50,180
▲ 204	▲ 75	▲ 268	▲ 207	▲ 122	▲ 106	▲ 554	▲ 379	▲ 383	▲ 348
▲ 104	▲ 87	▲ 125	▲ 176	▲ 140	▲ 175	▲ 253	▲ 191	▲ 238	▲ 259
34,785	34,655	34,513	34,042	33,685	33,390	33,042	32,921	32,669	32,384
▲ 112	▲ 130	▲ 142	▲ 471	▲ 357	▲ 295	▲ 348	▲ 121	▲ 252	▲ 285
▲ 135	▲ 132	▲ 158	▲ 252	▲ 228	▲ 201	▲ 208	▲ 223	▲ 278	▲ 192
18,555	18,569	18,328	17,864	17,578	17,353	17,110	16,886	16,706	16,490
▲ 233	14	▲ 241	▲ 464	▲ 286	▲ 225	▲ 243	▲ 224	▲ 180	▲ 216
▲ 97	▲ 97	▲ 154	▲ 146	▲ 104	▲ 148	▲ 178	▲ 135	▲ 120	▲ 176
22,341	22,073	21,491	21,235	20,926	20,548	20,334	19,800	19,459	19,099
▲ 336	▲ 268	▲ 582	▲ 256	▲ 309	▲ 378	▲ 214	▲ 534	▲ 341	▲ 360
▲ 171	▲ 134	▲ 190	▲ 160	▲ 157	▲ 195	▲ 205	▲ 199	▲ 211	▲ 204
36,506	36,951	37,438	37,821	37,829	37,983	37,942	37,713	37,683	37,702
267	445	487	383	8	154	▲ 41	▲ 229	▲ 30	19
130	159	154	106	103	69	6	28	14	▲ 48
20,730	20,312	20,073	19,662	19,245	18,789	18,384	18,053	17,581	17,181
▲ 416	▲ 418	▲ 239	▲ 411	▲ 417	▲ 456	▲ 405	▲ 331	▲ 472	▲ 400
▲ 248	▲ 258	▲ 251	▲ 243	▲ 310	▲ 284	▲ 265	▲ 296	▲ 311	▲ 289
17,572	17,428	17,299	17,069	16,773	16,446	16,273	15,842	15,502	15,175
▲ 210	▲ 144	▲ 129	▲ 230	▲ 296	▲ 327	▲ 173	▲ 431	▲ 340	▲ 327
▲ 45	▲ 28	▲ 22	▲ 66	▲ 76	▲ 64	▲ 57	▲ 86	▲ 73	▲ 84
47,846	47,792	47,940	48,011	47,729	47,707	47,991	47,535	47,470	47,415
121	▲ 54	148	71	▲ 282	▲ 22	284	▲ 456	▲ 65	▲ 55
▲ 17	▲ 20	▲ 24	▲ 79	▲ 53	▲ 95	▲ 57	▲ 122	▲ 87	▲ 135
10,431	10,259	10,172	9,996	9,797	9,563	9,342	9,168	8,943	8,821
▲ 180	▲ 172	▲ 87	▲ 176	▲ 199	▲ 234	▲ 221	▲ 174	▲ 225	▲ 122
▲ 102	▲ 81	▲ 73	▲ 90	▲ 118	▲ 121	▲ 115	▲ 108	▲ 114	▲ 93
23,301	23,069	23,106	22,786	22,786	22,519	22,262	22,021	21,870	21,809
▲ 225	▲ 232	37	▲ 200	▲ 120	▲ 267	▲ 257	▲ 241	▲ 151	▲ 61
▲ 91	▲ 98	▲ 123	▲ 106	▲ 119	▲ 92	▲ 132	▲ 115	▲ 118	▲ 137
9,603	9,489	9,410	9,293	9,181	9,085	8,944	8,786	8,635	8,542
▲ 166	▲ 114	▲ 79	▲ 117	▲ 112	▲ 96	▲ 141	▲ 158	▲ 151	▲ 93
▲ 68	▲ 15	▲ 51	▲ 52	▲ 71	▲ 68	▲ 92	▲ 63	▲ 59	▲ 94
26,026	25,744	25,714	25,470	25,267	25,072	24,797	24,517	24,423	24,309
▲ 139	▲ 282	▲ 30	▲ 244	▲ 203	▲ 195	▲ 275	▲ 280	▲ 94	▲ 114
▲ 42	▲ 76	▲ 45	▲ 75	▲ 118	▲ 62	▲ 94	▲ 89	▲ 155	▲ 149
17,497	17,401	17,473	17,322	17,148	16,905	16,681	16,313	16,048	15,813
▲ 96	▲ 96	72	▲ 151	▲ 174	▲ 243	▲ 243	▲ 368	▲ 265	▲ 235
▲ 82	▲ 97	▲ 75	▲ 129	▲ 87	▲ 113	▲ 124	▲ 150	▲ 172	▲ 158

出典：人口…平成12年、17年、22年、27年は国勢調査結果。その他の年は県常住人口調査結果による。自然増減…県常住人口調査結果による。